



興性寺本堂にて、義援金をお渡しした

去る平成二十八年三月九日より三月十一日まで三日間、岩手教区興性寺主催による岩手県仮設住宅お見舞い活動へ、深田修験課長補佐と共に参加した。

この活動は震災以降、興性寺の司東和光住職を中心として、副住職、寺庭婦人、檀信徒、そして近隣寺院の住職、副住職により、現在も仮設住宅に住まわれている被災者の皆様方のお宅に、一軒一軒お見舞いのお品をお届けする活動である。この尊い活動に、かねてより大山御貫首は深く賛同しており、当山としても参加させて頂いている。

興性寺本堂に於いて義援金授与式を執り行う。この義援金については、当山境内に設置している震災義援金募金箱より、檀信徒の皆様方からお寄せ頂いた募金であり、皆様方の思いを被災者に、被災地へとお届けさせて頂いた。授与式の後、興性寺住

### 東日本大震災被災地への思い 仮設住宅訪問 心豊かな生活を祈る

法務課 飯沢 隆秀

## 熊本地震の被災者の皆様に 御見舞い申し上げます

このたびの大地震と、<sup>たびかさ</sup>度重なる余震により被災された多くの皆様にご見舞い申し上げます。被災によりお亡くなりになられた方々の御冥福を、心よりお祈り申し上げます。

そして、一刻でも早い復興と、平安なる日々が訪れますようご祈念申し上げます。

大本山 高尾山 薬王院

去る四月二十日、大山御貫首が八王子市役所を訪れ、熊本地震の被災地支援の義援金の目録を、石森市長に手渡されました。この義援金は日本赤十字社を通じ被災地へ送るほか、社会福祉協議会を通じ、災害ボランティア活動の支援金として活用されます。



職を始め、副住職、寺庭婦人、檀信徒と共に御見舞いの品を車に積み、仮設住宅へ向けて出発をする。仮設住宅に到着し、「これから一軒一軒伺わせて頂きます。どうか皆様方が日々を健康で、心豊かな生活を過ごせますように」と思いを込め法螺貝を立てる。一軒一軒伺うと、「遠くから本当にありがたい。私たちも頑張るからね。」と住民の方から感謝の言葉を頂いた。未だに困難を強いられる中、立ち直りに向けてひた向きに歩まれた姿を見た時、こうした現実を私達はいつまでも忘れぬように心に刻まなくてはならない。そして震災から五年以上がたった今も、復興への道は遠い。当山では日々の御護摩修行に於いて、被災地の一日も早い復興を合掌の両手に思いを込めて祈り続けております。

一心祈願 復興促進  
合掌



仮設住宅や学校を訪れ、被災者の皆様と交流を行った

### 興性寺御見舞活動支援金

#### 高尾山に感謝状届く

岩手県の愛宕山興性寺の司東御住職より、五ページに掲載されております、仮設住宅訪問活動に對しまして、後日感謝状が届きました。現在は御護摩受付所隣の、信徒休憩所にて掲示させて頂いております。

